

## **講座2**

**授業をきちんと成立  
させるために必要な  
こと**

# **1 日本の授業研究の 現状**

- **日本の授業研究は、今まで「ごちそう授業」の追究をしてきた！**



# **ごちそう授業とは…**

- **多くの時間をかけて教材研究をし、**
- **さまざまな準備をし、**
- **精一杯のすばらしい授業を！**



学校現場では、

「研究授業」として

具現化

- **日頃やっていない授業  
を作り上げて、互いに  
検討し合う！**

それで

どうなったのか？



**ほとんど、  
何も変わらなかった！**

●教師の**授業力**は向上し  
なかった！

●子供たちの**学力**も向上  
しなかった！

**その原因！**

**1, 2時間の研究授業を  
どんなに精力的に力を入  
れても、1000時間  
以上の「日常授業」はそ  
のまま！**



そもそもの始まり

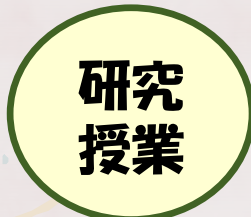
日常授業

研究  
授業





**日常授業**



**研究  
授業**

- 今まで「**日常授業**」を  
何とかしようという  
動きが日本の「**授業研究**」  
で起きなかったのは？



- ① 研究授業をやっておけばいいという風潮があるから。
- ② これ以上、「日常授業」まで手を付けていくのは大変だという思いがあるから。
- ③ 「日常授業」は、何とかやれているから。
- ④ 「日常授業」を改善していこうという気運が先生たちにないから。
- ⑤ 「日常授業」と言われても、ピンとこないから。
- ⑥ その他

**「日常授業」はなんとかや  
れているから、もうこれ以  
上忙しくしたくない！**

**日本の教師たちの最大の  
悩みは、アンケートによ  
ると、**

**授業準備の時間が足りな  
い！**



● 何とかやれている  
「日常授業」は、  
どんな授業なのか？

# 1 のまとめ

- **日本の授業研究は、ごちそう授業の追究になっている。**
- **研究授業主義に陥っている。**
- **反面、先生たちの意識が、それを支えている。**

**2 多くの先生たちは  
今どんな授業をして  
いるか？**



- **6年間で1000人近くの先生の授業を見てきました。**
- **7, 8割の先生方がこんな授業をしていました！**

- ① 一問一答式の授業(ピンポンをやるような)
- ② 本時の目標がよく分からない授業
- ③ いつもの子供の挙手発言で進んでいく授業
- ④ 先生がしゃべってばかりいる授業
- ⑤ 学力がなかなか身に付かない 定着不足授業
- ⑥ しょっちゅうプリントに書く授業
- ⑦ だらだらと活動ばかりある授業

**④先生がしゃべってばかりいる授業**

**⑤学力がなかなか身に付かない 定着不足  
授業**

**③いつもの子供の挙手発言で進んでいく  
授業**



④先生がしゃべってばかりいる授業  
(おしゃべり授業)

⑤学力がなかなか身に付かない 定着不足  
授業

(学力定着不足授業)

③いつもの子供の挙手発言で進んでいく  
授業

(挙手発言型授業)

# ①「おしゃべり授業」に 陥っている先生

# A おしゃべり授業

8. 9割がおしゃべり

挙手発言はいつもの子供たち

ほとんど傍観者





**おしゃべいの正体とは？**

**「指導言」**

**授業の中で指導する言葉**

**発問、指示、説明**

**説明が多すぎる(インプットだらけ)**

# ②学力定着不足授業

45分、50分で本時が  
終わらない！

最後が曖昧！



### **③挙手発言型授業**

**授業のほとんどを挙手発言で済ませてしまう！**

# 「挙手発言」型授業

## <メリット>

- ・子供たちの積極性を引き出す

## <デメリット>

- ・「ハイ、ハイ」授業…人の意見を聞かないで、自分に当ててほしい一心
- ・課題を深く考える、友達の意見をよく聞く
- ・「外向的な子供」を良しとする授業

## 2のまとめ

- 授業のほとんどをしゃべっている。
- 確かな学力が身に付いていない。



**3 学力が身に付かない授業は、具体的にどのように作られているのか？**

**基盤にあるのが、  
授業準備する時間が  
ないという現実**

● **今どんな授業を作っているか？**

**「ぶっつけ本番授業」**



- **指導書の斜め読み**
- **超つまんない！**
- **子供たちは、我慢している。**
- **「授業とは、そんなものなんだ！」**

● **研究授業→指導書、ネット  
検索**

● **日常授業→指導書斜め読み**

- **だから、先生たちの授業力は向上しない**
- **その結果、子供たちの学力は向上しない**



**何が問題なのか？**

問題なのは、

「**日常授業**」を乗り  
切る**自前の授業法**が  
ない！

- **物語文の指導法**
- **説明文の指導法**
- **すらすら本を読むこと**
- **算数の低学力の子を向上させる指導法**



# 「味噌汁・ご飯」授業

# 3のまとめ

- 多くの先生が、指導書斜め読みのぶっつけ本番授業をやっている
- 自前の基本の授業法を持っていない

# **4 「味噌汁・ご飯」授業 の基本的原則**

## **授業づくり心得3原則**



# 「味噌汁・ご飯」授業

- ① 日常性を追求すること
- ② 基礎的な学力保障があること。
- ③ 全員参加であること。

その1

●授業の**主体**を明確に  
せよ！

●授業の**主体**は教師。



その2

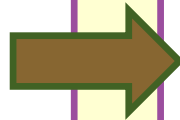
授業は「**全員参加**」で  
組み立てる！

**こんな子供を育てたい！**

- **自分で考え**
- **その答えを言語化し**
- **他へ伝えることができる**

# その3 授業の成立

インプット



アウトプット



# 日頃の「日常授業」

インプット



アウトプット

●インフットは、アウトフットに  
よってこそ完結。

# もっとアウトプットの 活動を！



「書く」「発表する」「ペアで  
話し合う」「グループで話し  
合う」



**アウトプットの活動は**  
**考える、**  
**相手に伝える、**  
**自分を表現する、**  
**定着させる**  
**などの機能**

ここで子供たち  
は学力を  
身に付ける

# 4のまとめ

- 授業の主体は教師
- 全員参加の授業を作る
- 授業は、インプットとアウトプットで成り立つ

# 5 「味噌汁・ご飯」授 業の授業法



# 授業づくり3原則

指導言ー活動ーフォロー  
(インプット) (アウトプット)

# コント55号

中村健一先生

笑いの構造

フリーオチーフォロー

授業だって、フリーオチーフォロー

萩本欽一  
坂上二郎

# 「味噌汁・ご飯」授業

## 授業づくり3原則

指導言ー活動ーフォロー

(フリ)

(オチ)

(教えて)

(動かして)(ほめる)



# 授業スタイル①

## 授業分割法（ユニット制）

● **国語は、**

・ **漢字タイム(5分～10分)**

・ **音読タイム(5分)**

・ **本時(30分)**

● **算数では、**

・ **復習タイム(5分)**

・ **本時(35分)**

・ **スキルタイム(5分)**

# 授業スタイル②

## 「小刻み活動法」



# 小刻み活動法とは？

- 「**指導言**」のあとには、すぐに**活動**を入れて、**小刻み**に授業を構成していく手法

- **まとまった時間が必要な  
生活科や総合などには  
不向きである**

● **どんな授業でも、い  
つのまにか子供は集  
中していく！**



● **困難な現場を生き抜いていくには、**

**「日常授業」を乗り切る自前の授業法を持つこと。**

# 5のまとめ

- 毎日の「**日常授業**」で学校は成り立っている
- この「**日常授業**」を豊かにすることが学校を、先生たちを、元気にし、回復させていく